

各 位

上場会社名 石垣食品株式会社
 代表者 代表取締役社長 石垣 裕義
 (コード番号 2901)
 問合せ先責任者 経理部経理課 課長 小西 一幸
 (TEL 03-3263-4444)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年10月22日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	677	△54	△52	△42	△12.55
今回修正予想(B)	601	△72	△77	△68	△20.35
増減額(B-A)	△75	△18	△24	△26	
増減率(%)	△11.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	716	22	27	22	6.66

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	670	△9	△7	2	0.76
今回修正予想(B)	596	△32	△30	△21	△6.42
増減額(B-A)	△74	△23	△23	△24	
増減率(%)	△11.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	713	21	28	23	6.84

修正の理由

(1) 連結

中国子会社でのビーフジャーキー生産において、前期後半からの30%以上の急激な円安に加え、人件費の高騰、主要原料である中国産牛肉の高騰が続く、これらの対策とされた商品の内容量減少による実質値上げと、原料肉の中国産から割安な豪州産への切替えが当初予定よりも大幅に遅れました。更に、一部納品先で値上げ商品への切替えに時間を要して受注のない状態が想定よりも長期に渡ったことに起因して、売上の上がらない期間、および売上減少に伴う工場稼働率が低い期間が長引いたことから、収益・損益とも悪化し、損失額が増加することとなりました。

(2) 単独

ビーフジャーキーの収益が上がらない期間が長引いたことに加え、烏龍茶のリニューアルが期待ほどの効果を発揮しなかったこと、杜仲茶のブーム沈静化が想定よりも早かったこと、ごぼう茶も前年ブレイクした反動があり冬期の需要の盛り上がりが見込めなくなったことから、当初予想よりも収益・損益とも悪化することとなりました。

なお投資有価証券の売却は予想通り行うことができたものの、損益の悪化がその売却益を上回ったことから、当期純損益も赤字となることとなりました。

以上により、上記の通り業績予想の修正を行います。

以上